

Jネットの大先輩

星野清三郎さん

大正生まれの九十三歳、高田中学三十三回生、海兵六十三期生、元海軍少佐。
戦後 海上自衛隊統合幕僚会議事務局長



星野さん(左)

(現統合幕僚監部)、海将。

投稿をお願いしたのですが、「高田中学四〇回生の小林栄一君のことを書きたいが、筆が進まない」とのことでした。因みに小林さんは海兵出身の元軍人さんで、フリッピン沖で撃沈されるも、多くの乗組員をカッターで救助したと伝えられています。

ご本人も一九四五昭和二十年四月 菊水一号作戦(菊水作戦)に第二水雷戦隊通信参謀 海軍少佐として軽巡「矢矧」に乗り組み、坊ノ岬沖海戦で沈没されるも 駆逐艦「初霜」に救助される。

随想には「佐藤策次先生を偲ぶ」があります。佐藤先生は高田中学の教師、直江津市長を歴任された方です。

(編集部内藤)

野口春雄さん

Jネット顧問、九十二歳。多方面で活躍されて居られますが、こんな所でも大活躍されました。

今好評上映中の映画「フラガール」は、エネルギー革命で閉鎖が迫る昭和四十年、寂れた常磐炭鉱の町の活性化を目指す人々が地元の若い女性によるフラダンスショーを企画した「常磐ハワイアンセンター」を開業させるまでの苦労話がテーマです。

このシナリオの功労者が、当時常磐炭田の総務部長で「常磐ハワイアンセン

ター」開業の責任者をして居られた野口さんでした。

炭鉱で働いていた、嫌がる娘さん達を説得に説得を重ね、フラダンスの主役にしたのです。第一号は野口さんの秘書のお方と聞いております。炭鉱閉山での失業問題も起こさずに転進に成功させたのです。これを頭に入れて映画を鑑賞されたら、もつともっと楽しい鑑賞が出来るのではないのでしょうか。Jネット会報十七号にもこのことに触れております。

(編集部内藤)



野口さん

玉井 輝さん

幼少の頃、野口さんと同じ広場で遊んだ思い出があるとおっしゃる高田女学校三〇回卒の玉井さんもお元気で活躍されています。毎年娘さん、お孫さん、曾孫さんと一緒にＪネット交流会にも参加されています。

時々「お元気ですか」に投稿されており、大のＪネットファンです。

上越市民の歌にも応募もされました。選にもれましたが、ご紹介します。大正口マンを感じさせ、且つ力強い歌詞です。

一、

黎明の妙高殿として、

千歳閣し来たる君子の姿

豊かな雪どけ、水は田畑を潤はし

恵まれた我が上越はそよ風に、

緑まはゆく波打つ街

さあ頭を上げよ

我が街日本一上越

二、

恵まれた資源、海に、山に、

天の恵みを生かせ

脚並揃えて進もうよ

杳音高く一・二・一・二気の揃う街

歴史に文化にと先人に続け、

育む町上越

三、

歌に名高い、米山山は、

夕映の美しいまち

慈母のご両手を広げて

抱擁してくれる山

明日の幸せを祈り進め

上越頸城平野は小金波

皆さんのご健康と一層のご活躍を期待しましょう。

(編集部 岡村)



うみてらす名立にて 娘さん、お孫さん、曾孫さんに囲まれて



娘さん2人に囲まれて